

## 統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.05.00 へのリビジョンアップのお知らせ

High-performance Embedded Workshopを V.4.04.01 から V.4.05.00 へ リビジョンアップしました。

### 1. アップデート対象製品

High-performance Embedded Workshop V.3.00.00～V.4.04.01

High-performance Embedded Workshopは、これと連携するコンパイラなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニュー「ヘルプ」の「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

### 2. リビジョンアップ内容

#### 2.1 機能の改善および変更

##### (1) ビルド全般

##### (a) リンク順序のカスタマイズ

- リンク順序のインポートおよびエクスポート機能をサポートしました。
- 「リンク順序のカスタマイズ」ダイアログボックスで、複数ファイルの一括移動をサポートしました。
- 「リンク順序のカスタマイズ」ダイアログボックスのサイズを変更できるようにしました。

##### (b) プロジェクトのビルド

依存関係が指定されたプロジェクトの親プロジェクトのビルドでは、子プロジェクトでビルドエラーが発生した場合、親プロジェクトをビルドしないようにしました。

##### (c) カスタムプロジェクトタイプ

カスタムプロジェクトタイプを選択して新規にプロジェクトを作成すると、選択したプロジェクトタイプのビルドオプションおよびリンク順序の設定を新規に作成したプロジェクトに継承する

ようにしました。

## (2) High-performance Embedded Workshopが管理する情報の保存

Windows Vista(R) のセキュリティと安定性の強化のため、Program Files ディレクトリはアクセス許可を使用して保護されています。

High-performance Embedded Workshopが管理する情報は、デフォルトでは Program Files下にインストールしたHigh-performance Embedded Workshopのディレクトリ下に保存していましたが、ユーザープロファイルディレクトリ下に保存するように変更しました。これにより、ログインしているユーザーアカウント別に High-performance Embedded Workshopの設定が可能になりました。

## (3) ツールアドミニストレーション

Windows Vista(R) のセキュリティと安定性の強化のため、Program Files ディレクトリはアクセス許可を使用して保護されています。

そのため、Program Filesディレクトリ下に管理者権限でインストールされたHigh-performance Embedded Workshop アプリケーション用のファイルの配置を、High-performance Embedded Workshopアプリケーションで変更できないように、「ツールアドミニストレーション」ダイアログボックスの「アンインストール」ボタンを削除しました。

## (4) デバッグ全般

(a) 「デバッグの設定」ダイアログボックスで、モジュールのロード時に バッチファイルを実行するように設定していても、ワークスペース ウィンドウ内のモジュール名上での右クリックメニューから「ダウンロード(debug情報のみ)」をクリックした場合は、バッチファイルを実行しないオプションを追加しました。

(b) メニュー「デバッグ」の「接続解除」をクリックしたときに、すべてのウィンドウの表示状態を保持するようにしました。メニュー「デバッグ」の「接続解除」をクリックした後に、メニュー「デバッグ」の「接続」をクリックすると、接続解除前のすべてのウィンドウの表示状態に戻します。

## (5) High-performance Embedded Workshopアプリケーション間、またはターゲットプラットフォーム間の同期デバッグ機能

(a) High-performance Embedded Workshopアプリケーション間の同期デバッグ機能の削除

メニュー「ツール」の「従属HEWの起動」コマンド、および「標準」ツールバーの「従属HEWの実行」ボタンを削除しました。

(b) ターゲットプラットフォーム間の同期デバッグ機能の削除

- 「デバッグセッション」ダイアログボックス内の「同期デバッグ」タブを削除しました。

- change\_sub\_sessionコマンドを削除しました。

## (6) コマンドラインウィンドウ

### (a) バッチファイルのステップ実行機能

バッチファイルを1行単位で実行する機能をサポートしました。

### (b) バッチファイルのブレークポイントでの停止機能

バッチファイルの任意の位置で実行を停止する機能をサポートしました。

## (7) ステータスウィンドウ

ウィンドウの初期表示位置をHigh-performance Embedded Workshopメインウィンドウの左上隅から左下隅に変更しました。

## (8) IOウィンドウ

(a) 選択したI/Oレジスタをウィンドウに表示する機能をサポートしました。

(b) ウィンドウの表示内容の更新を抑止する機能をサポートしました。

(c) ウィンドウ内でI/Oレジスタの検索機能をサポートしました。

(d) ウィンドウ内で、フルモジュール名が表示されていない場合、そのモジュール名にマウスポインタを置くとポップアップウィンドウを開き、フルモジュール名を参照できるようにしました。

## (9) 画像ウィンドウ

ワークスペースを開いたとき、画像データを読み込まないようにしました。

## 対応ソフトウェア：

現在、量産中でHigh-performance Embedded Workshopに対応した全てのソフトウェアツール

## 2.2 デバッガに関する機能の改善

以下の(1)~(6)に、改善されたデバッガに関する機能を示します。

### (1) MRアナライズウィンドウ (OSデバッグ機能)

(a) 実行履歴の統計結果をファイルへ保存する機能をサポートしました。

## 対応デバッガ：

M32Cシリーズ用シミュレータデバッガ

M32C PC7501エミュレータデバッガ

M32C PC4701エミュレータデバッガ

M16Cシリーズ,R8Cファミリ用シミュレータデバッガ

M16C R8C PC7501エミュレータデバッガ

M16C PC4701エミュレータデバッガ

## (2) カバレッジウィンドウ

### (a) コードカバレッジウィンドウ

- セッション情報を読み込むときに、カバレッジ情報ファイルを読み込むオプションを追加しました。
- プログラムの実行を停止したときに、自動的にカバレッジ率を計算するオプションを追加しました。
- 混合モードまたは逆アセンブリモードで開いているエディタウィンドウおよび逆アセンブリウィンドウに、コードカバレッジ結果を表示するカラムを追加しました。
- C0/C1カバレッジのパーセントを少数点以下第2位まで表示するようにしました。

### (b) データカバレッジウィンドウ

- データカバレッジのパーセントを少数点以下第2位まで表示するようにしました。

対応デバグガ :

- E100エミュレータソフトウェア
- E200Fエミュレータソフトウェア
- AE-5シリーズ用E6000Hエミュレータソフトウェア
- AE-4シリーズ用E6000エミュレータソフトウェア

## (3) リアルタイムプロファイルウィンドウ

- ### (a) ウィンドウ内に表示している関数名をダブルクリックすると、該当関数のソースコードを表示する機能をサポートしました。

対応デバグガ :

- E100エミュレータソフトウェア
- E200Fエミュレータソフトウェア

## (4) ウォッチ機能

### (a) ウォッチウィンドウ

- シンボルの参照先をスコープ別に指定できるようにしました。指定可能な参照先は、プログラムカウンタの指すアドレスから参照可能なスコープ、グローバルシンボル、および各ファイル内のスタティックシンボルです。この機能は、「デバグの設定」ダイアログボックスの「デバグフォーマット」のリストでElf/Dwarf2を選択したときに使用できます。
- 登録済みシンボルの名称を編集できるようにしました。
- ポインタ変数の値を編集できるようにしました。
- スコープから外れない限り、シンボルの展開を閉じてもリアルタイム更新機能の設定状態を維持するようにしました。
- シンボルをメモリウィンドウへドラッグする

ことにより、メモリウィンドウの表示開始アドレスをシンボルのアドレスに容易に変更できるようにしました。

- テスト支援機能で、シンボルのアドレスを比較しないオプションを追加しました。
- 登録済みシンボルの値の更新記録機能で、ファイルに出力する情報にタイムスタンプを付加するオプションを追加しました。

(b) インスタントウォッチ

「インスタントウォッチ」ダイアログボックスのサイズを変更できるようにしました。

(c) watch\_displayコマンド

コマンドの表示結果に「Scope」カラムを追加しました。

(d) watch\_recordコマンド

タイムスタンプ用のパラメータとして、[ ]を追加しました。

対応デバグガ :

SuperHファミリ用シミュレータデバグガ  
H8SX,H8S,H8ファミリ用シミュレータデバグガ  
E10A-USBエミュレータソフトウェア  
E8aエミュレータソフトウェア  
E8エミュレータソフトウェア  
E10T-USBエミュレータソフトウェア  
E100エミュレータソフトウェア  
E200Fエミュレータソフトウェア  
E6000HEミュレータソフトウェア  
E6000エミュレータソフトウェア

(5) coverageコマンド

(a) coverageコマンド

初期値を「Enable」から「Disable」に変更しました。

(b) coverage\_rangeコマンド

初期範囲を「00000000 - 00000000」から「No Range」に変更しました。

対応デバグガ :

SuperHファミリ用シミュレータデバグガ  
H8SX,H8S,H8ファミリ用シミュレータデバグガ

(6) トレースウィンドウ

(a) 分岐トレース間の補間機能 (デバグガ対象マイコンによって

異なります) により、補間したアドレスに対応するソースコードを表示するようにしました。

対応デバugga :

E10A-USBエミュレータソフトウェア

E200Fエミュレータソフトウェア

## 2.3 改修内容

以下のRENESAS TOOL NEWSで報告した問題を改修しました。

### (1) ブレークポイントの設定に関する注意事項

「ルネサステクノロジ開発環境ソフトウェア製品Windows Vista(R) 対応のお知らせ (2)」の3項「(3) Windows Aero使用中の操作」で報告した問題を改修しました。

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 070516/tn3 (2007年5月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/070516/tn3.htm>

### (2) ダウンロード時の注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 080316/tn1 (2008年3月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/080316/tn1.htm>

### (3) デバッグ専用プロジェクト使用時に表示するソースツリー表示機能に関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 080916/tn1 (2008年9月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/080916/tn1.htm>

### (4) 複数ファイル内で文字列を検索する際の注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081001/tn1 (2008年10月1日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081001/tn1.htm>

### (5) プロジェクトへのファイルの追加に関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081001/tn2 (2008年10月1日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081001/tn2.htm>

### (6) ローカル変数を参照する際の注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081001/tn3 (2008年10月1日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081001/tn3.htm>

### (7) モジュールのロード順序に関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081016/tn2 (2008年10月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081016/tn2.htm>

### (8) ターゲットプラットフォームと連携する際のモジュールの

ロードに関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081016/tn3 (2008年10月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081016/tn3.htm>

(9) カスタムビルドフェーズ用ビルドオプションの構文に関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081016/tn4 (2008年10月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081016/tn4.htm>

(10) ツールチェインバージョン変更後のカスタムビルドフェーズ用

ビルドオプションに関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 081016/tn5 (2008年10月16日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/081016/tn5.htm>

### 3. アップデート方法

以下のいずれかの方法で無償でオンラインアップデートができます。

(1) 以下にあるダウンロードサイトからアップデートプログラムを

ダウンロードして実行してください (11月25日から公開)。

[http://japan.renesas.com/hew\\_download](http://japan.renesas.com/hew_download)

(2) オートアップデートユーティリティを使用してアップデートプログラムを

入手し、実行してください (11月26日からサービス開始予定)。

アップデートプログラムには、次の2種類があります。必要に応じて

いずれかによりアップデートしてください。

- フルアップデートプログラム

High-performance Embedded Workshop V.3.00.00以降に変更のあった

High-performance Embedded Workshopのコンポーネントを

アップデートします。V.3.00.00以降のバージョンがインストール

されている場合にアップデートできます。

- 差分アップデートプログラム

High-performance Embedded Workshop V.4.04.01以降に変更のあった

High-performance Embedded Workshopのコンポーネントを

アップデートします。V.4.04.01以降がインストールされている

場合にアップデートできます。

### 4. 注意事項

(1) 本アップデートでは、High-performance Embedded Workshop以外の

コンポーネント (Cコンパイラ、エミュレータデバグガなど) は

アップデートされません。

(2) オートアップデートユーティリティ V.1.00.00~V.1.03.00を

ご使用の場合は、先にオートアップデートユーティリティ V.1.04.00へ

アップデートしてください。その後、High-performance Embedded

WorkshopをV.4.05.00へアップデートしてください。

オートアップデートユーティリティは、2007年7月1日にV.1.04.00へ

リビジョンアップされました。

更新内容の詳細は、以下のURLでRENASAS TOOL NEWSを参照ください。

資料番号: 070701/tn1 (2007年7月1日発行)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/070701/tn1.htm>

### (3) High-performance Embedded Workshop V.4.05.00のアンインストールに関する注意事項

インストールマネージャ V.1.00.00またはV.1.02.00をご使用の場合、本アップデートプログラムでアップデートされたHigh-performance Embedded Workshopを選択し、「アンインストール」ボタンをクリックしても、アンインストールが開始されません。

回避策:

この場合、以下の手順でHigh-performance Embedded Workshopをアンインストールしてください。

(a) インストールマネージャの「メンテナンス」ウィンドウで、上側のリストからアンインストールする High-performance Embedded Workshopを選択し、「アクティブ対象の変更」ボタンをクリックしてください。

(b) Windows(R) 上の「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」を実行し、High-performance Embedded Workshopを削除してください。

恒久対策:

インストールマネージャの次期バージョンで改修する予定です。

インストールマネージャのバージョンは、インストールマネージャの「メンテナンス」ウィンドウで「バージョン情報」ボタンをクリックすると確認できます。

なお、「バージョン情報」ボタンがない場合はV.1.00.00です。

### (4) Windows Vista(R)対応

(a) 標準権限での動作を可能とします。ただし、マニュアルナビゲータは管理者権限で実行してください。

(b) High-performance Embedded Workshop V.4.04.01以前のバージョンでの下記制限事項を改修しています。

- 管理者権限でHigh-performance Embedded Workshopを実行する必要がある。
- Windows Aeroでエディタウィンドウおよび逆アセンブリウィンドウのソフトウェアブレイク設定が正しく動作しない。

(c) ネットワークを利用したプロジェクト共有機能

Windows Vista(R) のセキュリティと安定性の強化のため、ネットワーク保護機能が強化されています。

そのため、本機能はWindows Vista(R) 上では使用できません。

**ご注意:**

現在ご使用中のエミュレータデバッガ等にHigh-performance Embedded Workshop V.4.05 をアップデートしても Windows Vista(R)対応になりません。今後リリースされる High-performance Embedded Workshop V.4.05対応のコンパイラパッケージおよびエミュレータデバッガをご使用ください。各製品のWindows Vista(R)対応時期は以下URLをご参照ください。

<http://japan.renesas.com/windowsvista>

(5) Windows Vistaにおける標準権限での使用についての注意

詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWS 資料番号 090401/tn1 を参照ください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/090401/tn1.htm>

---

**[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.